

【リデュース】

(1) 軽量化実績

- ・2006年に軽量化された主な品目は、5品種24品目（表1）であり、軽量化重量は2,974トン、総重量に占める割合は0.2%であった（表2）。
- ・軽量化効果が最も大きかった品目は、コーヒーで、軽量化トン数は約2,500トン。
- ・その他にも粉末クリーム、つゆ、たれにおいて軽量化の効果が大きい。
- ・軽量化の考え方は、前年と同容量の品目についてのみ対象としており、容量変更による新品目の軽量びんは対象外としている。

表1 2006年に軽量化された品目

品 種	品 目
薬塩	細口（1品目）
食料塩	コーヒー（9品目）、粉末クリーム（1品目）
調味料塩	ケチャップ（1品目）、たれ（2品目）、酢（2品目）、新みりん（1品目） つゆ（4品目）、調味料（1品目）
ビール塩	ビール（中小）（1品目）
ウイスキー塩	ウイスキー（1品目）

表2 軽量化実績（2006年）

軽量化重量合計	生産トン数	軽量化率
2,974	1,343,925	0.22%

(2) 1本当りの単位質量変化

- ・2006年のガラスびん1本当りの平均質量は187.7gとなり、前年の187.2gに比べて0.5g（0.3%）の増加となった。
- ・増加要因としては、1本当りの単位質量が平均質量よりも重い「清酒 1.8L」「清酒中小」「ビール」等の生産が前年に比べて増加したためである。清酒 1.8Lびんは焼酎需要の増加、ビールびんはリターナブルびんの入れ替え時期による生産の増加によるものである。また、小容量製品が前年に比べて減少していることも一因である。
- ・一方、目標設定の基準年である2004年（192.3g）に比べるとガラスびんの1本当りの平均質量は4.6g減少している。

(3) 既に軽量化された主な品目

- ・平成12年から平成17年までに、既に軽量化された主な品目は、表3のとおりとなっている。

表3 既に軽量化された品目（2000年～2005年）

品 種	品 目
薬塩	小塩ドリンク（2品目）
調味料塩	酢（3品目）、ドレッシング（3品目）、調味料（3品目）
牛乳塩	牛乳（4品目）
ウイスキー塩	ウイスキー（1品目）